

1 安心・安全で快適に暮らせるまち

施策1 安心・安全で災害にも強いまち

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 緑区の災害リスクを視覚的に表現した地形模型を作成します（区役所（総務課）はじめ各公所（署））			D
「緑区防災フェスタ」をはじめとした防災イベントのほか、各地域で実施される集会や防災行事への出展等使用回数 5回	未実施 緑区主催の防災イベントのほか、各地域のイベント等での出張展示 出展回数…0回 各種イベントでの展示のため地形模型を作成していたところ、作成機器の不調により、模型の完成をすることができませんでした。	展示のため、引き続き作成に取り組んでまいります。	
(2) 大規模災害に備え各種防災訓練を実施します（区役所（総務課）、緑消防署はじめ各公所（署））			A
各訓練参加者アンケートにおいて、訓練全体について「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%	実施済 総合水防訓練、総合防災訓練、宿泊型避難所開設訓練を実施 避難所開設訓練 実施学区 25学区 訓練参加者アンケートにおいて、「災害時に必要な対応が理解できた」方の割合 96.0%	総合水防訓練をはじめとする各種防災訓練を通じて、区内の全学区で防災訓練を実施しました。1人でも多くの方に防災・減災対策を進めていただけるよう関係機関と連携し、防災意識の向上につながる訓練を実施してまいります。	
(3) 緑区防災フェスタを開催します（区役所（総務課）はじめ各公所（署））			A
来場者アンケートで「今後も参加したい」と答えた方の割合 95%	実施済 11月25日開催 来場者アンケートにおいて、「今後も参加したい」方の割合 97.4%	各団体にご協力いただき開催しました。当日は874名と多くの方に来場していただき、防災・減災について理解を深めていただきました。	

(4) 区内のボランティア団体と連携協力して防災啓発に取り組みます（総務課）		—
—	実施済 親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を12月10日に実施	名古屋みどり災害ボランティアネットワークと共同で開催するイベントを実施しました。当日は主に子育て世代を中心に450名の方に来場していただき、自助力向上について理解を深めていただきました。
(5) 区民の皆様が安心・安全で快適に暮らすことのできるまちづくりを推進します（地域力推進室、保健センター、緑警察署、緑消防署、緑環境事業所、緑土木事務所）		A
アンケートで「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合 95%	実施済 12月9日に開催したキャンペーンにおいてアンケートを実施し、「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合 98%	区民の皆様が安心・安全で快適に暮らしていくことができるよう、地域住民の皆さまと各公所（署）が連携・協力した活動を引き続き行ってまいります。
(6) 放火されない環境づくりを推進します（緑消防署）		A
放火防止パトロール 2回実施 住宅防火（住宅用火災警報器の設置・交換）に関する相談会 2回実施	実施済 放火防止パトロールを4回実施しました。住宅防火（住宅用火災警報器の設置・交換）に関する相談会を2回実施しました。	名古屋市内で放火火災の件数は減少していますが、緑区内で住宅火災による死者が発生したことから住宅火災防止のための啓発が必要です。住宅用火災警報器が義務となる場所への完全設置を説明・啓発していくことが重要な課題となります。
(7) みどり市民病院から犯罪の抑止、生活・安全に関わる情報啓発を行います（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院、緑警察署）		A
デジタルサイネージ※による情報提供の更新回数 年4回	実施済 デジタルサイネージ※を活用した情報提供を年4回更新し、健康講座時に犯罪防止啓発活動を行いました。 ※「デジタルサイネージ」とは、院内情報モニターのことです。	院内において、通常診療時の待ち時間に視聴していただけるデジタルサイネージ※を活用した情報提供の取り組みを行います。また、健康講座等の機会にあわせて、犯罪防止啓発活動を行います。

(8) 災害時における共助のしくみづくりを推進します（総務課、緑消防署）		A
総合水防訓練及び総合防災訓練参加者アンケートで、安否確認訓練について「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%	実施済 訓練参加者アンケートにおいて、「災害時に必要な対応が理解できた」方の割合 96.0%	総合水防訓練及び総合防災訓練の中で避難訓練に合わせて安否確認訓練を実施しました。引き続き消防署と連携し、各種防災訓練に安否確認訓練を取り入れ、共助のしくみづくりを推進します。
(9) 地区防災カルテを活用した地域防災活動を推進します（総務課、緑消防署）		A
地区防災カルテを活用した防災訓練等実施学区 28学区	実施済 総合水防訓練、総合防災訓練、宿泊型避難所開設訓練及び地区防災カルテを活用した避難所開設訓練を28学区で実施した。	避難所開設訓練に地区防災カルテの説明を組み込み、地域の特性や災害リスクの把握等を実施いたしました。引き続き地域防災力を向上に努めます。
(10) 防災に関する講座を行います（緑生涯学習センター）		A
防災に関する講座、事業の開催 5回	実施済 防災に関する講座・事業を5回開催しました。	緑区の関わる風水害の情報や知識、防災・減災のために必要なことを学ぶ講座を開催しました。
(11) 災害ボランティアセンターの役割をPRします（緑区社会福祉協議会、総務課）		A
イベントでのPR活動やセンター立ち上げ訓練の実施 4回	実施済 防災フェスタや区総合防災訓練等において計4回、啓発活動やボランティアセンター立ち上げ訓練を行いました。	災害ボランティアセンターの役割を広く知ってもらうため、また、必要時に効果的なセンター運営を行うため、引き続き訓練の実施や啓発活動に努めます。
(12) 消防団員の確保を支援します（緑消防署）		—
—	実施済 消防団個々の勧誘活動に加え、区民まつりや防災フェスタなど、市民が集まる機会を捉えて広報活動を実施しました。 （緑区内消防団充足率等） R5.4.1 521名【74.4%】 R6.2.1 527名【75.3%】	緑区全体の消防団員数は増加傾向にあるものの、減少が続いている消防団も存在します。消防団が連携し、地域に働きかけを行うなどして、地域実情に応じた取り組みを検討していきます。

(13) 区民一人ひとりの防災力の向上を図ります（緑消防署）			A
戸別訪問による啓発活動 7学区	実施済	引き続き、家具転倒防止対策の重要性を訴えかけるとともに、緑区内の家具転倒防止ボランティアと連携して、家庭の防災力向上に関する啓発を行いました。	
	家具転倒防止対策による家庭の防災力の向上を目的とした戸別訪問事業を、令和元年度より継続実施しており、今年度時点で「20学区」に対して実施しました（令和5年度7学区実施）。		
(14) 事業所と地域との支援協力体制を推進します（緑消防署）			A
支援協力に関する覚書の締結 91事業所	実施済	締結事業所数は増加傾向にありますが、事業所と地域が連携して訓練等を実施することができていません。災害時における自主防災活動の実効性を高めることができるよう、顔の見える関係の構築を足掛かりとして、段階的に自主防災訓練への参加に発展させていくことができるよう、働きかけを支援していきます。	
	今年度、新規の事業所が1件加わり、締結事業所数は、合計92事業所となりました。		
(15) 災害活動の迅速な対応をめざし、名水協との連携強化を図ります（上下水道局緑営業所）			—
—	実施済	訓練による名水協との連携強化は、概ね順調に達成できました。今後も協力体制を維持し、災害時の迅速な対応をめざしていきます。	
	総合水防訓練及び総合防災訓練において、名水協とともに参加し、地下式給水栓操作訓練を通じて連携体制の強化を図りました。		

施策2 環境にやさしく快適なまち

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 緑区クリーンキャンペーン・なごや2023を実施します （地域力推進室、保健センター、緑環境事業所、緑土木事務所）		A
メイン会場参加者アンケートで「町を美しくする活動に関心が高まった」と答えた方の割合 95%	実施済 メイン会場参加者アンケートにおいて、「町を美しくする活動に関心が高まった」と答えた方の割合97%	引き続き、クリーンキャンペーンを通じ、町を美しくする活動を進めてまいります。
(2) 緑区環境バザーを開催します（地域力推進室、緑環境事業所）		A
売上品数 1,200点	実施済 売上品数 1,543点	多くの方に来場していただくことができ、売上品数は目標を上回りました。今後も環境バザーを通じてリユースの意識高揚を図ってまいります。
(3) 環境デーなごや2023inみどりを開催します（緑生涯学習センター）		A
参加者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95%	実施済 6/4(日)に開催し、17名(定員24名/応募数19名)の参加者でした。アンケート回答者17名に対して、「満足」・「まあまあ満足」と回答した方の割合は100%でした。	食品ロスのない環境にやさしい調理を、親子で体験する講座を開催しました。
(4) 地域環境イベントを開催します（緑環境事業所、南東部公害対策担当）		A
参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 95%	実施済 参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 96%	環境問題について自ら考え、よりよい環境づくりへの具体的な行動のきっかけとなることを目的として、今後も地域環境イベントを実施する予定です。

(5)資源・ごみの分別推進に取り組みます（緑環境事業所）		—
—	実施済 日々の収集業務の中で、分別マナーが不十分な場合は、直接指導を行うなどの取り組みをしています。 分別マナーアップ推進月間（6月・11月）に特別巡回を実施し、環境局職員が収集前の地域を回り、分別状況の確認及び啓発品の配布を行いました。	今後も資源とごみの分別徹底を呼びかけ3R※を推進して、ごみ減量をめざしていきます。 ※3R（スリーアール）：リデュース＝ごみそのものを減らす、リユース＝ごみにしないで繰り返し使う、リサイクル＝ごみを資源として再利用する。
(6)ペットの適正な飼育の普及啓発により環境美化を推進します（保健センター）		A
ペットに関する啓発活動・講座の開催 5回	実施済 犬のしつけ方教室2回、安心安全で快適なまちづくりキャンペーンでの啓発2回、ペット同行避難啓発2回、イエローチョーク作戦2回	ペット同行避難啓発は総合防災訓練、防災フェスタで実施しました。その他の啓発活動として犬の巡回指導を実施しました。

施策3 地域をつなぐ絆づくり

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 緑区区民まつりを開催します（地域力推進室）			A
来場者アンケートにおいて、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 95%	実施済 来場者アンケートにおいて、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 99%	緑区制60周年を祝う区民まつりということもあり盛り上がってご満足いただけました。来年度もこの盛り上がり続けてまいります。	
(2) 町内会・自治会への加入を促進します（地域力推進室）			A
学区行事や各種キャンペーンでのリーフレット頒布 10回	実施済 学区行事やキャンペーンでのリーフレット頒布16回	様々な行事が再開し、目標回数を超える行事等で頒布を行うことができました。引き続き町内会・自治会への加入促進のため、周知に努めてまいります。	
(3) 緑生涯学習センターまつりを開催します（緑涯学習センター）			A
来場者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95%	実施済 11/11(土), 12(日)2日間に開催し、768名(延べ人数)の来館者でした。アンケート回答者342名に対して、「満足」・「まあまあ満足」と回答した方は99%でした。	今年度はキッチンカーや鳴海高校の参加により若年層の参加も多く、例年参加される団体の皆さまも開催を心待ちにしており、非常に喜んでいただけました。	
(4) 徳重地区会館まつりを開催します（徳重地区会館）			B
参加者アンケートで「満足」と答えた方の割合 95%	実施済 参加者アンケートで「満足」と答えた方の割合87%	「満足度」95%を達成できませんでした。内容を改善、変更しながら来年度も取り組みます。	
(5) 徳重地区会館における住民参加型自主事業を実施します（徳重地区会館）			A
実施事業 10事業	実施済 10事業実施	恒例化した事業、新規事業どちらも定員に達しており、アンケートでも概ね好評でした。	

(6) 区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します（東部・緑農政課）			B
ハガキの有効応募件数 500件	実施済	有効応募件数は目標を達成することができませんでした。今後は緑区産農産物の魅力がより伝わるものになるよう応募ハガキ付きマップの内容を工夫し、有効応募件数の増加を図ります。	
	スタンプラリーにおいて、有効応募件数は456件		
(7) 人権に関する講座・事業を開催します（緑生涯学習センター、地域力推進室）			A
人権に関する講座・事業の開催 6回	実施済	「障がい者」・「性的少数者」・「犯罪被害者等」・「同和問題(部落差別)」に関わる人権問題についての講座を開催しました。	
	人権に関する講座・事業を6回開催しました。		

施策4 協働によるまちづくり

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 人と人の交流、活動の輪を広げる取り組みを実施します（プロジェクトチーム）			—
—	実施済 緑区制60周年記念事業として「ありがとうがずーっと」「元気がずーっと」「記念映画M-60"THE WARRIOR"」プロジェクトを実施。	「ありがとう」プロジェクトでは、約900名3000枚のありがとう写真を集め、区民まつりでモザイクアートとして公開し、区民のありがとうでつながる絆を広げる取り組みができました。 「元気」プロジェクトでは、クアオルト健康ウォーキングを実施、区内外から定員の3倍近い参加をいただき、交流と活動の輪を広げることができました。 「記念映画」プロジェクトでは、地域の方総勢100名以上の出演とスタッフ協力、撮影も全て区内ロケと、地域の力を結集し完成、試写会には定員3倍以上の推定1,200名の来場があり、区民の地域愛や関心の高まりに効果があったものと思われます。	
(2) 花・水・緑の公園通り推進事業を促進します（地域力推進室）			A
イベントなどでのアンケートで「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 95%	実施済 イベントなどでのアンケートで「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 99%	14の部会で様々な講座の実施やイベントでのブース出展を行い、非常に高い評価をいただきました。来年度も精力的に推進事業を進めてまいります。	
(3) 区民プラザにおける区民活動を支援します（支所）			A
案内・見守り活動 1週間あたり 8回	実施済 1週間あたり平均8回実施しました。	サポータークラブによる案内・見守り活動は目標を達成することができました。 今後も、サポータークラブの活動を支援することを通じて、より快適に利用できる区民プラザを目指していきます。	

(4) ボランティア団体の竹林整備事業を支援します(みどりが丘公園事務所)		A
竹林整備 9回 活動紹介展示会 1回	実施済 竹林整備 8回 (雨天により1回中止) 活動紹介展示会 1回	ボランティア団体による竹林整備活動が緑と水に包まれたみどりが丘公園の魅力アップにつながりました。
(5) 花づくりボランティア「みどりが丘公園ララフルール」の育成に取り組めます (みどりが丘公園事務所)		A
活動回数 40回 (週1日 ただし、雨天中止)	実施済 活動回数 39回 (雨天により1回中止)	花を愛するボランティアの皆さんの活動によりみどりが丘公園が季節の草花によって彩られました。

施策5 便利で住みよいまち

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 道路・公園の整備をすすめます（緑土木事務所）			—
—	実施済 都市計画道路（古鳴海停車場線）については、用地取得を進めております。 都市計画墓園（みどりが丘公園）については、合葬式墓地周辺の休憩所等を整備しました。	機能的な都市活動と安心で安全な市民生活を確保するため、都市計画道路（古鳴海停車場線）及び都市計画墓園（みどりが丘公園）の整備を継続して行います。	
(2) 市街地の整備をすすめます（緑都市整備事務所、地域力推進室）			—
—	実施済 鳴海駅前では、AB工区においてみどり市民病院の整備に向け検討を進めるとした方針を決定しました。 大高駅前では、大高駅前土地地区画整理事業及び大高町線街路事業において、建物移転等を行いました。	鳴海駅前では、病院整備の方針に基づき、関係機関と協議を進めるとともに、早期用地取得に向け取り組んでまいります。 大高駅前においても、早期収束に向けて事業を進めてまいります。	
(3) 誰もが安心して利用できる市バスをめざします（交通局緑営業所）			—
—	実施済 乗務員の接客態度及び運転操作の状況を添乗等により把握し、教育・指導しています。 発生した事故・運行ミス等の事例と原因について、映像等を使用して全乗務員に周知し、事故・運行ミスの再発防止に努めています。 お客さまから頂戴したご意見や賞詞を周知して接客サービスの向上に努めています。	今後もハード・ソフト両面において、効果が見込まれる様々な取り組みを行い、安全・快適な市バスの運行に努めてまいります。	

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

施策6 子どもの健やかな育ちを支えるまち

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1)みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します（民生子ども課、保健センター、緑生涯学習センター、緑児童館）			A
連続講座受講者の子育てに対する自己評価（10段階評価）の全体平均 受講の前と後で3段階以上改善	実施済		関係団体の積極的な連携により、多くの講座を開催することができています。受講者からのアンケートをもとに、子育ての悩みや孤立等の改善が受講前と後の効果測定で平均3段階の改善であり、目標に届くことができました。今後も引き続き関係団体と連携しながら講座内容を検討し、子育ての学びや受講者同士がつながり、受講者の自己評価が大きく改善されるよう講座を提供していきます。
	連続講座受講者の子育てに対する自己評価（10段階評価）の受講の前と後での平均効果測定値が3段階改善されました。		
(2)児童虐待を防止します（民生子ども課、支所、保健センター、東部児童相談所、なごや子ども応援委員会、緑警察署）			—
—	実施済		関係機関が緊密に連携して支援を行い、各家庭の養育環境の改善を進めました。 「児童虐待防止推進月間」を中心に児童虐待防止の啓発活動を関係機関・団体と連携して展開しています。 また、親支援プログラム講座を複数開講するなど、児童虐待を予防する学びの機会の普及にも取り組んでいます。
	支援が必要な家庭に対して、情報共有・早期対応のため、関係機関による会議を毎月1回開催。 5月、11月の「児童虐待防止推進月間」では、5月1日区役所職員がオレンジ色のマスクを着用するなど区役所全体で啓発活動を実施。11月は、関係機関・団体の協力を得て、子どもたちのオレンジ色の手形と児童虐待防止のメッセージをカエデの木に見立てた作品を区役所で展示。 児童虐待を事前に防ぐため、親支援プログラム講座を3回開催。また、就労中の保護者も参加しやすい日曜日講座6回及び地域子育て支援拠点と協力して子育て講座2回を開催。		

(3) 子どもの発達や障害等でご心配の保護者を支援します(保健センター)		A
発達が心配な幼児と保護者対象の「子育て教室」 4回開催 障害児や医療的ケア児と保護者対象の講演会・交流会 2回開催 障害児や医療的ケアが必要な児童の保護者のグループへの保健師参加 各グループ1～2回	実施済 子育て教室 4回開催 講演会・交流会 2回開催 保護者グループへの保健師参加 各グループ2～3回	関係機関と協働の子育て教室や、講演会や自主グループ支援を通じて、障害児や医療的ケアの必要な保護者への支援を実施しました。
(4) 子どもの事故予防・救急法教室を開催します(保健センター)		C
「子どもの事故予防・救急法教室」実施回数 14回 計280人 3か月児健康診査における講話 実施回数44回 計880人	実施済 子どもの事故予防・救急法教室 22回 参加者計156人 3か月児健康診査 44回 参加者計928人	目標について達成できませんでした。今後も周知・啓発を進めるため、「子供の事故予防・救急法教室」の参加者数増に向けて、広報なごや等も活用しながら、より一層広報に努めます。
(5) 子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します(民生子ども課、緑区社会福祉協議会、緑児童館)		A
大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区、片平地区でのプレーパークの開催 毎月1回実施	実施済 大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区、片平地区でのプレーパークを毎月1回開催。	プレーパークを定期開催することで、子育て世代、地域住民、民間団体等による地域のつながりづくりを進めています。

(6) 子ども向けのシリーズ事業「ゆめみどり」を開催します（緑文化小劇場）		A
来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%	実施済 来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 96%	全6事業を実施し、いずれも高い評価率となりました。今後も子どもたちが文化芸術に触れる機会を充実させていきます。
(7) 子ども読書活動を推進します（緑図書館、徳重図書館、保健センター）		—
—	実施済 おはなし会・ぬいぐるみのおとまり会・プログラミング講座の開催、オリジナル読書通帳の配布、課題図書の販売等を行いました。また、読書に際し特別な配慮を必要とする子どもが利用しやすい本のコーナー「りんごの棚」の設置、ディスレクシア（発達性読み書き障がい）講演会を開催しました。	子どもたちが本や図書館に興味・関心を持ってくれるよう、様々な角度からアプローチしました。どのイベントでもいきいきと楽しみながら参加される様子が見られました。

施策7 人にやさしい福祉のまち

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるための取り組みを行います（福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関）			—
—	実施済 地域包括ケア推進会議の関係機関とともに、高齢者の見守り活動の充実や認知症への理解促進のための取り組みを実施しました。	地域包括ケア推進会議の取り組みとして、見守り活動の充実を目的とした「みどりく みまもり通信」の発行、認知症に対する理解促進のためのイベント「認知症ってなあに？ 2023」や認知症サポーター養成講座の開催、介護予防につながる「きらきらマン体操」の啓発等を実施しました。引き続き関係機関とともに、取り組みを進めていきます。	
(2) 「緑区あんしんカード」の活用を周知します（福祉課、支所）			A
ケアマネサロン等で「緑区あんしんカード」活用のサポートの依頼 3回	実施済 「緑区あんしんカード」が効果的に活用されるよう、趣旨や目的等を伝えるチラシ、ポスターを作成しました。また、ケアマネサロンで活用のサポートの依頼（3回）を行うとともに、引き続き、ウェブサイトに掲載してより多くの方にご活用いただけるようにしました。	今後も、新たに対象となられた方への配付を行うとともに、より多くの方に「緑区あんしんカード」を活用いただけるよう、取り組んでいきます。	
(3) 障害のある人が作った製品の販売を支援します（福祉課、支所）			A
展示販売コーナーの設置 330回	実施済 展示販売コーナーを394回設置しました。また、12月7日（木）にイオンモール大高にて販売フェアを実施しました。	障害への理解促進や就労支援につながるよう、今後も取り組んでいきます。	

(4)あたたかく見守り、お互いさまの気持ちで支え合える地域づくりをめざします（福祉課、支所、緑区社会福祉協議会）			A
見守り活動の情報交換の実施	実施済	今後も、「みどりく みまもり通信」の発行を継続するとともに、地域で見守り活動をしている方々の困りごとの解消等に向けた取り組みを実施していきます。	
	見守りのサインや実際に起こった事例を紹介する「みどりく みまもり通信」を発行し、高齢者見守り協力事業に登録している事業者へ送付しました。		
(5)認知症になっても支え合って暮らせる地域づくりをめざします（福祉課、支所、保健センター、いきいき支援センター）			A
区民向け啓発イベントの実施 1回	実施済	「認知症ってなあに？2023」では地域の認知症専門医の講演会に併せて、認知症カフェや認知症の方にやさしい店等の紹介をしました。また、認知症サポーター養成講座については、若い世代への理解の促進のため、高校2校に加え、新たに小学校1校でも実施しました。次年度も引き続き若い世代への啓発を中心に取り組みを進めていきます。	
	「認知症ってなあに？2023」や認知症サポーター養成講座を開催しました。		
(6)地域支えあい活動を支援します（緑区社会福祉協議会、福祉課、支所、保健センター）			A
地域支えあい事業新規実施学区 1学区	実施済	「地域支えあい事業」の既実施学区への活動支援を継続するとともに、実施学区のさらなる拡大に取り組めます。	
	既実施学区（鳴子、長根台、戸笠、平子、黒石）への活動支援に加え、令和5年9月から新たに事業を開始した緑学区に対して、立ち上げ及び活動支援を行いました。		

(7) 老人クラブへの加入促進を支援します (福祉課)		—
—	実施済 老人クラブと連携し、加入促進を目的としたチラシを各地域で回覧しました。	引き続き、様々な広報媒体を活用して老人クラブの魅力や活動を周知し、老人クラブへの加入促進を支援していきます。
(8) 緑区自立支援連絡協議会の活動を通して障害のある人がいきいきと暮らせるまちをめざします (福祉課、民生子ども課、支所、保健センター、緑区障害者基幹相談支援センター)		—
—	実施済 部会において課題検討や当事者団体・関係機関の情報共有を行うとともに、研修会や事例検討など、地域の障害者支援に資する取り組みを実施しました。	今後も、当事者団体や関係機関の連携を深め、障害者福祉の向上に向けて取り組んでいきます。
(9) 「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します (福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、緑区障害者基幹相談支援センター)		A
イベント開催 1回	実施済 10月28日(土) 区民まつりにおいて、障害のある人の特性や生活支援用具の使用を体験できる企画を実施しました。	今後も、障害のある人とない人の交流や相互理解につながる企画を実施します。
(10) 高齢者に合わせた体操の普及を通じて介護予防に取り組みます (保健センター、福祉課、支所、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会)		A
きらきらマン体操の実施回数 20回 参加者数 300人	実施済 実施回数 104回 参加者人数 2702人	地域の高齢者サロンや高齢者はつらつ長寿推進事業、老人クラブ、保育園、保健センター等で実施しました。

施策8 健康づくりができるまち

事業名（担当）		評価															
目標	取り組み結果	担当課コメント															
(1) 人と魅力資源をつなげる仕掛けづくりに取り組みます（プロジェクトチーム）		A															
1コース整備・オープン	実施済 クアオルト健康ウォーキング「自然と歴史を感じる大高コース」を整備・オープンしました。	地域の協力も得て、緑区初のクアオルト健康ウォーキングコースを整備オープンし、定員の3倍近い申込みをいただきました。来年度も既存コースの運営及び新規コースの整備を進めてまいります。															
(2) ポールウォーキングを通じた健康づくりを推進します（保健センター）		C															
ポールウォーキング講座 実施回数 10回、参加者 150人 参加者の満足度 100%	実施済 10回実施 86人参加（キャンセル26人） 参加者アンケート回収率100% 参加者の満足度100%	参加者数を伸ばすことができませんでした。今後はクアオルト健康ウォーキングを取り入れ、形態を変えて周知してまいります。一方で、65歳以上の方を対象に実施する教室や老人クラブを対象にポール普及教室を実施し、ポールウォーキングを広めることができました。															
(3) 区内各所にスポーツ指導者を派遣します（緑スポーツセンター）		A															
実施回数 10回	実施済 以下の内容を実施いたしました。 <table border="0"> <tr> <td>神の倉コミュニティーセンター</td><td>運動指導</td><td>1回</td></tr> <tr> <td>桃山コミュニティーセンター</td><td>運動指導</td><td>6回</td></tr> <tr> <td>太子コミュニティーセンター</td><td>運動指導</td><td>1回</td></tr> <tr> <td>大高コミュニティーセンター</td><td>運動指導</td><td>1回</td></tr> <tr> <td>浦里コミュニティーセンター</td><td>運動指導</td><td>1回</td></tr> </table>	神の倉コミュニティーセンター	運動指導	1回	桃山コミュニティーセンター	運動指導	6回	太子コミュニティーセンター	運動指導	1回	大高コミュニティーセンター	運動指導	1回	浦里コミュニティーセンター	運動指導	1回	保健センターと連携したポールウォーキング教室を実施しました。来年度も引き続き開催します。
神の倉コミュニティーセンター	運動指導	1回															
桃山コミュニティーセンター	運動指導	6回															
太子コミュニティーセンター	運動指導	1回															
大高コミュニティーセンター	運動指導	1回															
浦里コミュニティーセンター	運動指導	1回															
(4) 市民向け健康講座を実施します（名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院）		A															
実施回数 4回	実施済 福祉・健康・医療等をテーマに4回開催した。	区民の皆様に「医療・介護」の関心を高めていただき、健康づくりに寄与するため、来年度も4回開催します。															

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

施策9 魅力の発信と観光推進

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 緑区の魅力を発信します（地域力推進室）			A
観光PRキャンペーンで実施する各種アンケートにおける緑区の様々な魅力に関する認知度 95%	実施済 観光PRキャンペーンで実施する各種アンケートにおける緑区の様々な魅力に関する認知度 95%	有松・桶狭間・鳴海・大高など知名度を有する貴重な観光資源が認知されていることを改めて認識しました。改めて地域の魅力向上と発信に努めてまいります。	
(2) 「みどりっち」を活用して緑区をPRします（地域力推進室）			B
アンケートで「みどりっち」を知っていると答えた方の割合 95%	実施済 区民まつりへの来場者アンケートで「みどりっち」を知っていると答えた方の割合 94%	認知度向上を目指して、全戸配布の広報なごやでの「みどりっち」露出や、SNSのさらなる活用、各種イベントでのPRなど、これまで以上に「みどりっち」を活用した広報を進め、区民に愛されるキャラクターとして定着を図るとともに、区外の方にも覚えてもらえるようPRを行い、緑区の魅力発信を続けて参ります。	

施策10 歴史・伝統の継承

事業名（担当）		評価
目標	取り組み結果	担当課コメント
(1) 伝統野菜である「大高菜」及び「徳重だいこん」の普及やPRを図ります（東部・緑農政課、緑生涯学習センター）		A
大高菜の種子配布 800人	実施済 大高菜の種子の配布人数は1,150人	目標を大きく上回りたくさんの方の手に取っていただきました。今後も伝統野菜をPRし、普及に努めます。
(2) 歴史文化交流支援事業を推進します（地域力推進室）		B
参加者アンケートで「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合 95%	実施済 参加者アンケートで「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合 84%	地域の歴史文化に造詣の深い皆さんが会員となっている、緑区ルネッサンスフォーラムと協力し、広報誌作成、大河ドラマを契機とした事業及び各種歴史イベントを実施しましたが、目標達成にはもう少しという結果でした。来年度は目標達成すべく、さらにわかりやすく深い事業展開を進めてまいります。
(3) 区の特徴を活かした講座を開催します（緑生涯学習センター）		A
緑区の特徴を活かした講座の開催 6講座	実施済 緑区の特徴を活かした講座を6講座開催しました。	大高の魅力発見講座や、江戸時代後期に大高で伝わる「とうたけめし」を親子で作る講座を開催しました。

施策11 文化・芸術・スポーツ活動の支援

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 緑区民美術展を開催します（地域力推進室）			A
来場者アンケートで「美術展を良いと思った」と答えた方の割合 97%	実施済 来場者アンケートで「美術展を良いと思った」と答えた方の割合 99%	前年度よりも多くの観覧者が訪れ、満足度も目標を上回りました。今後もより多くの方に出品し、観覧していただけるよう、実施方法等を検討してまいります。	
(2) 緑区民舞台発表会を開催します（地域力推進室）			A
出場者アンケートで「出てよかったと思った」と答えた方の割合 92%	実施済 出場者アンケートで「出てよかったと思った」と答えた方の割合 95%	前年度よりも多くの出場があり、満足度も目標を上回りました。今後もより多くの方が出場し、満足していただけるよう、実施方法等を検討してまいります。	
(3) 緑フェスタを開催します（緑文化小劇場）			A
来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%	実施済 来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 96%	新しい参加団体も加わり、地域の皆様にバラエティーに富んだ演目をお届けすることができました。	
(4) 地域劇団「劇団みどり」の活動を支援します（緑文化小劇場）			A
来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 75%	実施済 来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 78%	引き続き劇団の活動を支援します。今後も地域の皆様に親しみを持っていただける取組みを進めます。	

(5)生涯スポーツの振興を図ります（地域力推進室）		B
スポーツ大会の総参加者数 3,600人	実施済	コロナ関係の制限が緩和されても、現行のスポーツ大会においては参加者数の戻りは鈍い状態となっています。緑区体育協会等とともに、より多くの方に参加していただきやすいスポーツの普及および大会の開催を検討してまいります。
	スポーツ大会の総参加者数 2,947人	

4 親しまれ信頼される区役所づくり

施策12 快適に市民サービスの提供

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 広報・情報提供の多様化を図ります（地域力推進室、総務課、企画経理室）			—
—	実施済 広報なごや、区公式ウェブサイトのみならずSNSでの迅速な広報に取り組んだ。	今後も伝えたい情報に適した媒体を幅広く活用し、広く・早く・興味を持ってもらえる広報・情報提供を目指します。	
(2) フロアサービスを実施します（区役所（総務課）、支所）			—
—	実施済 通年で窓口案内などを行っています。	引き続き、来庁者サービスの向上に努めます。	
(3) お誕生オリジナルお祝いカードをプレゼントします（市民課、支所）			—
—	実施中 令和5年4月～令和6年3月 1902枚（区役所 1104枚、支所 798枚）	来年度も出生届を提出されたお客様へ「お誕生お祝いカードプレゼント事業」を実施します。	
(4) 区民意見を区政に反映させます（企画経理室）			B
区民アンケートで、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合70%	実施済 区民アンケートで、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合は60%でした。	区政運営方針の取り組みについて、より満足度が高まるよう、努めてまいります。	
(5) おくやみコーナーを設置します（総務課）			—
—	実施済 令和5年7月におくやみコーナーを設置し、身近な方が亡くなられた後の区役所における必要な手続きをサポートしています。	引き続き、来庁者サービスの向上に努めます。	

施策13 区役所機能の強化

事業名（担当）			評価
目標	取り組み結果	担当課コメント	
(1) 職員の災害対応能力を伸ばします（総務課）			B
アンケートで「理解が深まった」と答えた職員の割合 95%	実施済 ・災害応急対策図上訓練において、区災害対策本部の初動対応の確認を実施 ・アンケートにおいて、「理解が深まった」と答えた職員の割合 91.6%	引き続き、職員の災害対応能力と危機管理意識のさらなる向上に努めます。	
(2) 職員の業務遂行能力を伸ばします（総務課、企画経理室）			A
アンケートで、窓口対応に「満足」と答えた方の割合 97%	実施済 ・新規採用者研修、接遇研修等の実施 ・有志職員による区制60周年事業の取組み ・アンケートで窓口対応に「満足」と答えた方の割合98.4%	引き続き、職員の業務遂行能力と業務意欲の向上に努めます。	